

令和7年度第2回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和7年11月27日（木）午前10時00分～午前11時30分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（4名）

伊 藤 由美子（委員長）

赤 木 邦 男

小 寺 直 美

山 口 英 穂

事務局（6名）

畑 中 伸 也（総務部 部長）

近 藤 巖（総務部 契約監理課 課長）

谷 浩 二（総務部 契約監理課 主幹）

伊 藤 佳 奈（総務部 契約監理課 契約調達係長）

都 築 琢（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（10名）

西 脇 聖 二（都市創造部 都市管理課 課長補佐兼建築営繕係長）

濱 口 隆 史（都市創造部 都市管理課 主査）

水 谷 真 也（都市創造部 都市管理課 主任）

中 村 敏 巳（都市創造部 桑名駅周辺整備事務所 主幹）

藤 原 雄 志（都市整備部 桑名駅周辺整備事務所 所長補佐兼計画工務係長）

山 本 憲 吾（都市創造部 桑名駅周辺整備事務所 主査）

小 林 信 幸（上下水道部 水道課長）

関 塚 佳 生（上下水道部 水道課 課長補佐兼水道係長）

加 古 勇 司（上下水道部 下水道課長）

石 田 哲 朗（上下水道部 下水道課 施設係長）

事 項

1 開 会

【委員長】

ただ今から、令和7年度第2回入札監視委員会を開会いたします。

なお、傍聴の方はいらっしゃっていないということで、また途中でいらっしゃった場合は、

その都度、皆さんにお諮りしたいと思います。

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

「議事（１）入札及び契約手続きの運用状況について」事務局に説明を求めます。

【事務局】

それでは「（１）入札及び契約手続きの運用状況について」ご説明いたします。

資料の１ページをご覧ください。

①の指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります、令和７年４月から令和７年８月の５か月の間に指名停止を講じました件数は３件です。

この３件は、三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じたところでございます。

次に②の談合情報でございますが、対象期間に寄せられた議事の対象となる情報はございませんでした。

続きまして③の入札及び契約の状況についてでございますが、審議対象期間に契約監理課及び、企画総務課から発注した案件のうち、建設工事に関連する案件は、事後審査型条件付一般競争入札で発注した建設工事 61 件、入札無効 1 件、事後審査型条件付一般競争入札で発注したコンサル 55 件、随意契約のコンサル 9 件でございます。

説明は以上でございます。

【委員長】

それではこの件についてご意見、ご質問ございませんでしょうか。

（意見等なし）

【委員長】

では、特にないようですので、この件については以上といたします。

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

次に事項の２、抽出事案の審議に入ります。

初めに今回の５件の抽出理由について、抽出理由を小寺委員からご説明願います。

【小寺委員】

よろしくお願いいたします。５件の抽出を行いました。

１件目は「長島浄化センター電気設備改修工事」で、落札率が高いことと応札業者の数が

少ないことで挙げております。

2 件目の「稗田配水管布設替工事（桑部橋左岸）」については、入札無効だったため。

3 件目の「馬道地区雨水管路施設他工事」は、不調であったこと。

4 件目の「在良小学校トイレ改修工事（1 期）」は、発注金額が高額であるということと、応札者の数が少ないこと。

5 件目の「陵成中学校屋内運動場樋軒天他改修工事監理業務委託」は、落札率が高いことと、随意契約ということで抽出をしています。

【委員長】

それでは、審議に先立ちまして、抽出案件 5 件について説明を求めるため、入札監視委員会条例第 6 条の規定に基づき、案件ごとに発注担当課の入室を許可することといたします。

（発注担当課入室）

抽出事案 1 長島浄化センター電気設備改修工事

【委員長】

それでは、1 件目、「長島浄化センター電気設備改修工事」について、本件の工事概要、発注公告の内容及び入札の経過について、発注担当課並びに事務局に説明を求めます。

【下水道課】

おはようございます。発注課担当の下水道課の加古と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼します。

概要書をご覧ください。

件名は、長島浄化センター電気設備改修工事でございます。

履行場所は、桑名市長島町赤地地内。

履行期間は、令和 7 年 8 月 25 日から令和 8 年 3 月 13 日まで。

予算額は、税込み 14,000,000 円。設計額は、税込み 13,974,400 円でございます。

工事内容としましては、長島浄化センター内の電気設備施設におきまして、電気信号を光信号に変換する機器であるメディアコンバーターの取りかえを 6 系統、及び、汚水処理水の溶存酸素濃度を測定監視する DO 計の取りかえを 1 台。さらに、汚水処理水の放流量を計測するデータを中央監視装置に送信するための信号を変換する機器でございます、放流流量変換器の取りかえを 1 台行う内容となっております。

概要については以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の 8 ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、電気工事業の許可業者であること。

所在地は県内までとし、経審点数は、市内業者450点以上、準市内業者は1,000点以上、県内業者は1,100点以上。

発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。

同種業務施工実績として、平成22年度以降、官公庁が発注した案件で、電気設備工事又は上下水道施設電気設備工事のいずれかにおいて、汚水処理場の電気設備の施工実績を有すること。

技術者要件として、現場代理人と主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、9ページをご覧ください。

令和7年8月5日に開札を行いましたところ、1者から応札があり、開札の結果、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内でありましたので、桑名電気産業株式会社を落札候補者とししました。その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き12,500,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

では、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

【山口委員】

この設備の工事をもともと設置した業者はどこの業者でしょうか。

【下水道課】

東芝電気となっております。

【山口委員】

市内業者450点、準市内業者1,000点、県内業者1,100点ということですが、この資格を持つ市内業者ですと、何者ほどあったんですか。

【下水道課】

応札可能業者は、市内では18者でございます。

【山口委員】

市内で18者あったんですけども、応札してきたのは、1者だけだったのですね。発注者側として、なぜ1者だけになってしまったかという検証はされていますか。

【下水道課】

はい。特殊な機器を取り付けますので、東芝との取引があるところでないと思えないため、手に入れることができるかどうかということが、まず1つの要因だと思われます。

【山口委員】

私が最初に聞いた設置業者は東芝さんでした。東芝さんと取引ある業者が1者しかいな

い。発注したら条件に合ったのは18者中1者でした。条件に合う会社が、1者しかいないということは事前に把握できませんでしたか。

【下水道課】

そこまで把握できておりません。県内で見積り取っておりますので、見積りを取れるということは取引があるということです。見積りをとった業者は参加ができると考えておりました。

【山口委員】

取引のある業者と取引のない業者、見積りが取れるか取れないか、民間の方であれば分かると思うんですけども。もともと取引があれば、例えば1,000万の部品でも、800万で出しますよ。取引のない業者が注文していたら、1,000万でしか出せませんというような条件になってくるっていうのは、あるんですけども。

コクヨと取引のあるところは、コクヨ製品を七掛けで買えますよ、そうでないところは正規の値段ですよというのはあるんです。個人で車を買う時もそうです。いわゆる個人の店で、トヨタ行ってダイハツの車を買ったり、ダイハツの代理店でホンダの車も取り扱っていますけども、看板に掲げている車であれば、何掛けで買える。いわゆる値引きです。しかし看板にない車ですと割高になる。そういうことがあるので、今回1者しか応札できなかったということを考えると、それらを念頭に置いた条件を付けていただいたらどうか。金額的にそんなに高い工事ではないので、他が遠慮したのかなというのもあるんですけども。業者間で談合ではないが、そういった付度もあるのかと。これが不正だとかいう思いではないが、そういった点も考慮して条件を付けていただいた方が良いのかなと思います。

【委員長】

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

では、私の方から。

もともとこの特殊な機器というふうにおっしゃってましたので、もうこれは東芝製のそれしかないみたいなことだったのでしょうか。

【下水道課】

そうです。東芝製の機器に組み込まないといけませんので、その通信を成り立たせるためには東芝製の機器しかない。ですので、そこ取引がないという形です。

【委員長】

そういうことだったんですね。わかりました。物が決められている中で、そこ取引があるかないかで、入札に参加できるかできないかという条件が変わってくると思います。

では、他によろしいでしょうか。

では、ただ今の審議ですけれども、本件については特段問題がないというふうに認められますけれども、委員からいただきましたご意見を発注担当課並びに事務局において十分ご留意いただき、適正な契約事務の遂行に努めていただくよう、委員会として意見を付すことといたしたいと思いますが、これにご異議がございますでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

では異議なしと認め、そのように決定いたします。

ここで、担当課が入れ替わりますので、少々お待ちください。

抽出事案 2 稗田配水管布設替工事（桑部橋左岸）

【委員長】

それでは、次に2件目、「稗田配水管布設替工事（桑部橋左岸）」の審議に入ります。本件の工事概要、発注公告の内容及び入札の経過について、発注担当課並びに事務局に説明を求めます。

【水道課】

水道課の小林でございます。よろしくお願いいたします。

概要書からご説明させていただきます。件名は、稗田配水管布設替工事（桑部橋左岸）でございます。

履行場所は、桑名市大字稗田地内。

履行期間は、契約締結日から令和8年3月13日までとしておりました。

設計額は、税込み72,265,600円でございます。

工事の概要は、員弁川に係る桑部橋の架け替えに合わせ、道路形態も変わることに伴い、既設水道管の布設替をする工事の計画でございます。

主な工事の内容といたしましては、配水管HRDIPEGX、通称ダクタイトル鉄管といっています。こちらの300ミリの管を190メートル、200ミリの大きさのものを100.8メートル、100ミリを0.2メートル、続いてHPP Eと表現させていただいておりますポリエチレン管の100ミリの合計が184.7メートル、75ミリが149.5メートル。こうした配水管を布設替える工事内容で計画いたしましたものでございます。工事の概要の説明は以上となります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の27ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、土木工事業の許可業者であること。

所在地は市内までとし、経審点数は730点以上。

発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。

同種工事施工実績は、平成22年度以降に官公庁が発注した案件で、土木一式工事の施工実績を有することとしています。

技術者要件として、現場代理人と監理技術者の専任配置を求め、その他技術者1として、配水用ポリエチレンパイプシステム協会施工講習の受講証取得者等の配置と、その他技術者2として、日本水道協会の配水管工技能講習会、小口径の受講証取得者等の配置を求めており、さらにその他の要件としまして、桑名市指定給水装置工事事業者であることとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、28ページをご覧ください。

令和7年6月24日に開札を行いましたところ、5者から応札があり、4者が最低制限価格を下回ったため失格となり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内でありました、新成テック株式会社を落札候補としました。

しかしその後、経費の計算に誤りがあったことが判明したため、当該入札を無効といたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等をお願いいたします。

【小寺委員】

落札後に、その経費の計算誤りがあったっていうことは具体的には、どういったことだったのでしょうか。

【水道課】

経費の誤りにつきましては、積算システムを使って設計書を作っております。その積算システムというのが三重県と共同で使わせていただいているもので、本市では使っていない事後公表型の計算方法のものを、間違っただけで積算をしてしまっていたことが判明しましたので、適切な公示価格でないことが明らかになったということで、この工事をそのまま進めることができないと判断しまして、入札の中止を申し上げたところでございます。

【山口委員】

いろいろ経費なり現場仮設費とかあるんですけども、具体的にはどの部分が違うのですか。

【水道課】

経費のうちの、現場管理費と一般管理費が、事後公表型になりますと、経費率がランダムで機械的に変わるようになっており、率をはじくにも、なぜこのパーセントになるかが検算者も分からないようなシステムで、入札談合や情報漏洩を防ぐための事後公表型の計算式だとお聞きしまして、そういったランダムの経費で計算されたものでございました。

【山口委員】

経費がランダムの事後公表型で行ったが、何パーセントか違ったということですね。しかしながら、この入札経過表を見ると、予定価格と最低制限価格の間に新成テックさんは入っているわけですね。

【水道課】

入っています。

【山口委員】

もし、それを計算し直した場合、最低制限価格はいくらになるわけですか。それに入っていれば新成テックさんが気の毒だなと。これは電子入札ですと、機械的に第1落札候補者と出てきますよね。新成テックさんが結果について納得されているのか。

【水道課】

落札候補者として、そのまま進めることが、システム上できるんですけども、適正な価格ではなかったのを再度工事の積算をし直して、また改めてということをした。それを、落札候補者の新成テックさんにご説明させていただいて、なんとかこの発注した工事につきましては、入札無効にさせていただきたいということで、ご理解を得られたところでございます。

【山口委員】

ここにある1、2、3、4、5という番号は、条件の中にある桑名市内の何でした。何か条件がありましたよね。

【企画総務課】

土木工事業の業者です。

【山口委員】

土木工事業の業者で水道の協会か何かに入っていないといけないのですか。

【企画総務課】

指定給水装置工事業者の認可を受けている業者です。

【山口委員】

指定給水装置工事業者であればたくさん持ってみえますね。

新成テックさんがこれで納得していただいているのであれば、良いのかなという気もするんですけど、公正性から見ると、どこをどう誤ったか、ランダムに選ぶので実際の計算についてどうだったのかというのは出ないんですよね。

【水道課】

最初の発注した時点ではそうなっておりました。再度、見直した際に再計算したところ率が違っていたことが発覚したということです。

【山口委員】

予定価格と最低制限価格に誤りが出て、実際にやってみたらいくらになるのかは機械がランダムに選んでくるので出ないですね。誤った形でなければ実際いくらだったんですかという質問をした時に、それは機械がランダムに選んでくるので分かりませんということでしょうか。

【企画総務課】

ランダムに選んできたなら、数字が間違えていたということですよ。

【水道課】

はい。

【企画総務課】

ランダムにチェックを入れなければ、数字はばちっと出たはず。

【山口委員】

じゃあ、その数字は幾つやったんですか。正規の数字が出たにもかかわらず、それがばしっと、また、新成テックさんが第1落札候補者ですよというのであれば、新成テックさんも納得していると言っているので良いのだろうけど、普通ならおかしいとなりますよね。

【企画総務課】

ちゃんとした形で数字が出せれば、他の業者さんもきちっとした計算で応札ができた可能性が残ってしまうから、取り下げをさせていただいたということになりますね。きちっと計算ができてれば、他の失格になった業者さんもきちっと計算をした上で、入札ができたはずなので、間違えた数字で出された状態で、取れなかった業者さんに不利益が生じてしまう可能性が出てきてしまうので取り下げた。

【山口委員】

予定価格は公表していますか。

【企画総務課】

はい。

【山口委員】

予定価格が間違っていて出ていたと。

【企画総務課】

はい。なので取れなかった業者さんにも不利益が生じてしまう可能性があった。

【山口委員】

それで取り下げたのですか。

【企画総務課】

はい。

【山口委員】

あくまでも失敗なので、以後は失敗の無いようにという結果になるかなということですね。

【委員長】

私も思ったのですが、要はミスというのが起こって、そのことをうやむやにせずちゃんと、検討して、どの業者さんにも不利益がないように、丁寧に説明されて、取り下げということにされたこと自体は、これはすごく評価できると思います。だから、そういうきちっとした姿勢は保っていただきたいというふうに思います。それと、山口委員が言われたように、こういうミスというのは、例えばその入札をもう一度、どこかでやり直すことになるんでしょうけれども、いずれにしてもこの工事をやらなくてははいけないし、ましてやその橋の架け替

えに伴っての工事であれば、あまりタイミングを逸することもできないでしょうから、そうすると、こういうことはあまりあってはいけないということになるので、この度のミスがどういう原因で起こって、それを今後排除するにはどうしたら良いかみたいな対策はとられてらっしゃるのでしょうか。

【水道課】

はい。現在の積算システムを信用しきっていたことが一番の原因でもありますので、それとは別で簡易的にですけども、計算式を作って、二重で別の計算方法ですり合わせて、確認しながら、ミスがないかって言うのを、二重三重のチェックをしながら、発注の方をさせていただいております。今回の工事自体は、もう橋が開通しておりますので、水道管の入替工事に関しては、道路管理者と再度協議を重ねながら、再度工事が出来る時期になれば、また布設替を計画していきたいと考えております。

【委員長】

それでは、この件について他にいかがでしょうか。

では、ただ今の審議の結果、本件については取り下げていますので、特に問題はないということになりますけれども、今後も適正にやっていただくために対策もとられているということですので、それを踏まえて今後の入札ができるように努力していただきたいというふうに思いますので、そういった意見を付すということによろしいでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

では異議なしと認め、そのように決定いたします。

ここで、担当課が入れ替わりますので、少々お待ちください。

(発注担当課入替え)

抽出事案 3 馬道地区雨水管路施設他工事

【委員長】

それでは、次に3件目、「馬道地区雨水管路施設他工事」の審議に入ります。本件の工事概要、発注公告の内容及び入札の経過について、発注担当課並びに事務局に説明を求めます。

【桑名駅周辺整備事務所】

桑名駅周辺整備事務所の中村です。

この度、ご審議いただく工事につきまして、ご説明いたします。 概要書をご覧ください。ページ数につきましては、29 ページです。

件名は、馬道地区雨水管路施設他工事となっております。

履行場所は、桑名駅西土地区画整理事業区域の南側、国道421号との取付部、近鉄益生駅の西側付近となっております。

履行期間は、契約締結日から令和8年2月10日までです。

予算額は税込み64,500,000円。それに対しまして、設計額は49,867,400円でございます。

工事の主な内容としましては、昔からある既存の水路を廃止いたしまして、この区画整理事業によりまして、新しく雨水の管路を道路内に整備する工事となっております。

工事の工種の内容ですけれども、記載にありますように、管の布設工ヒューム管 600 と 500 がそれぞれ 9 メートル、83 メートル。管布設に伴います仮設の土留工が一式。あと、地下水を低下させる工法といたしまして、一式計上しております。あと、組立マンホールが 2 ヶ所となっております。管きょ工を推進工事で行いますけれども、一つ目に小口径泥土圧推進工、延長 16 メートル。補助地盤改良工、一式。立坑工が 1 ヶ所。1 号組立マンホール、1 ヶ所。道路改良工といたしまして、側溝工が約延長 37 メートルとなっております。

内容としては以上となります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の34ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、土木工事業の特定及び一般を。

所在地は市内までとし、経審点数は 6 5 0 点以上。

発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること。

同種工事施工実績として、平成22年度以降に、官公庁が発注した案件で、中大口径管推進工法工事、又は小口径管推進工法工事（施工延長10m以下を除く）のいずれかの施工実績を有すること。

技術者要件としては、現場代理人と主任技術者の専任配置を求め、兼務は可とし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、35ページをご覧ください。

本案件につきましては、応札者がいなかったことにより不調となりました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明について、ご意見、ご質問等をお願いいたします。

【小寺委員】

同じ質問になるんですけども、今回入札がゼロですが、市内業者へ公募をしていると思うんですけど、想定ではどれくらい入札があると想定されていたんでしょうか。

【桑名駅周辺整備事務所】

入札の参加資格要件といたしまして、10 メートル以上の推進工事の施工実績を有する者と条件付けしておりますので、その中で条件に当てはまる市内業者といたしましては、一応確認したところ、8 者は施工実績を要しているということで、参加要件を満たしているとい

うことでございます。

【小寺委員】

なかなかこういう 10 メートル以上というのは難しいのですか。

【桑名駅周辺整備事務所】

特殊な、専門性のある工事ですので、やはり経験とか、知識がある技術者でないと品質の確保とか、安全性の担保が図れないですから、その辺の技術者が必要ということで、実際に応札者がゼロでしたので、該当する施工業者に電話で参加しなかったことの原因を把握する必要があると思ったものですから、聞き取りをさせていただいたところ、たまたま時期的に、国や県の同じような工事があって、それに技術者を確保したとか、現在、受注している工事に技術者を充てていた等の理由がありました。たまたま、下水の推進工事の経験があるとか、知識がある技術者が配置できないということで、今回は参加しなかったということで、時期がずれていればという話になります。

【委員長】

よろしいでしょうか。

【小寺委員】

はい。

【委員長】

他にいかがでしょうか。

【山口委員】

時期がずれておればということですけども、今度新たに公募する時に、どこの会社が今どれだけ技術者等が空いているのかというのは、すべて把握するのは無理だと思うんですけども。それでも、この市内業者ということに特化していくのか、準市内、もしくは県内業者というふうなことも考えていくのか、その辺はどのように。

【桑名駅周辺整備事務所】

もう、この工事案件につきましては、10 月 7 日に工事業者と契約しておりまして、再公告で発注させていただいたんですけれども、先ほどおっしゃられた準市内とか県内広げろっていう、そういう方法もあったんですけれども、やはりまずは市内業者優先ということで、時期が重なったということで、それに関して聞き取りの際に、時期が 1 ヶ月か 2 ヶ月後であれば確保できるようなことをおっしゃっていたので、2 ヶ月弱時期をずらしまして、再度、入札を行ったところ、この 10 月 7 日にですね、無事契約しております。

【山口委員】

そのときは、何者ぐらいの応札があったのですか。

【桑名駅周辺整備事務所】

1 者です。

【山口委員】

それでも 1 者ですか。分かりました。

【委員長】

他にいかがでしょうか。

【小寺委員】

電話で聞き取りをされたとのことですが、その8者全部に聞き取りをされた結果、1者が契約となったのでしょうか。

【桑名駅周辺整備事務所】

該当する8者には聞き取りを行って、そのうちの3者ぐらいは、もう少し後であれば可能だよってというのはその時点では伺っておりましたので、先ほど申し上げましたように県や国の工事が受注出来て、技術者を充てたら、当然うちの工事も入れないし、もし取れなかったら技術者が余ってくるのでその辺の加減もあって、その時点では確実に参加できるっていう会社は、3者は何とかいけるという回答をいただきましたので、同じ条件で市内業者で発注させていただきました。

【委員長】

ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

この件につきまして、審議の結果としては、不調でこのまま次へ行ったということです、特に問題がないというふうにさせていただきます。では、特に付す意見もないということです、これで決定したいと思います。

(発注担当課入替え)

抽出事案 4 在良小学校トイレ改修工事（1期）

【委員長】

それでは、続きまして、4件目「在良小学校トイレ改修工事（1期）」の審議に入ります。本件の工事概要、発注公告の内容及び入札の経過について、発注担当課並びに事務局に説明を求めます。

【都市管理課】

都市管理課の西脇からご説明をさせていただきます。

お手元の概要書に沿ってご説明させていただきます。

件名は、在良小学校トイレ改修工事（1期）。

履行場所は、桑名市蓮花寺129番地2地内でございます。

履行期間は、令和7年7月1日から令和7年10月31日まで。

予算額は税込み100,674,200円に対して、設計額は税込み99,099,000円でございます。

工事の内容といたしましては、教室棟①・③のトイレの乾式化と洋便器化です。教室棟①

は1階から4階、教室棟③は1階から3階が工事対象範囲となっております。教室棟③の1階部分には多目的トイレを設置する設計になっています。教室棟①は夏休み期間中に施工を完了し、教室棟③は児童との動線を分けし、夏休み期間以降も施工を行う計画となっております。3ページ目に配置図を付けております。網掛けさせていただいている部分が、工事範囲となっております。次のページに1階の平面図、その次のページに2階の平面図、その次のページに3階の平面図、その次のページに4階の平面図を付けております。さらに、その次のページに教室棟①の1階の平面詳細図を付けておりまして、左側が改修前の平面図で、右側が改修後の平面図となっております。次のページに行ってください、教室棟③1階のトイレの平面詳細図になりまして、こちらも左側が改修前、右側が改修後となっております。このトイレには多目的トイレを新設するレイアウトとなっております。次のページに行ってください、教室棟③2階の平面詳細図となっております。こちらも左側が改修前、右側が改修後となっております。工事の概要は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の46ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、建築工事業の特定を。

所在地は県内までとし、経審点数は、市内630点以上、準市内800点以上、県内900点以上とし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。

同種工事施工実績として、平成22年度以降に官公庁が発注した案件で、建築一式工事の施工実績を有すること、技術者要件として、現場代理人と監理技術者の専任配置を求め、兼務は可とし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、47ページをご覧ください。

令和7年6月18日に開札を行いましたところ、2者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額で応札した、株式会社伊藤工務店が落札候補者となりました。事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き83,880,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただ今の説明について、ご質問、ご意見等をお願いいたします。

【小寺委員】

トイレの改修工事が1期とか2期となっているのは、どういう理由ですか。続けて同じ業者さんがやっているのではないのか。

【都市管理課】

一つの学校のトイレを全部1年で改修するのではなくて、2回に分けまして、今年度は1期として教室棟①と③を行いまして、来年度残りの工事を行うということで、2期に分けさせていただきます。

【小寺委員】

トイレの改修工事っていうのは、結構金額的にも億単位なんだなと思って、これはどういう計算で予定金額を出しているのでしょうか。

【都市管理課】

トイレの工事は床の乾式化を行いまして、それに合わせてトイレの便器を洋便器化することとなっています。それに合わせて内装改修として壁の改修と給水管、排水管の更新を行いますので、その関係で天井も1回落としまして、新設するという工事内容になります。工事内容に合わせて数量や平米を出しまして、それに単価を掛ける形で工事費の方を計算しております。

【小寺委員】

イメージとして付け替えるというイメージだったので、そんなに金額が高くなるのかと思いました。確かに間取りが変わると、そういうふうになるのかなと想定できます。それで、応札の業者が2件しかないということで、その件に関してはいかがでしょうか。

【都市管理課】

今回、発注金額が高額となったということで、特定建設業許可を持っている業者さんを対象としておりまして、その関係で応札者数が少なくなったという感じです。

【山口委員】

夏休みというタイトな中で工期を決められると、なかなか応札業者が少ない、かといって子供達に影響があつてはいけないということも配慮すると、応札業者もどうしても少なくなってしまうのかなと考えていますので、これは仕方ないですけども。生徒との動線をなくしたりという配慮をしたにもかかわらず2者だけだったということで、これは致し方ないのかなと、私はこれについては特に問題がないのかなと考えております。

【委員長】

他にはいかがでしょうか。

では、私からこの案件とは関係なく質問しますが、小学校のトイレの改修というのは何件くらい残っているのでしょうか。

【都市管理課】

計画的に行っておりますが、直接学校を管理している部署ではないのでどれくらい残っているのかは把握しておりません。

【委員長】

すみません。ただ、まだこれから出てくる案件だと思いますので。

では、この件に関しては特に問題なしということで、付すべき意見も特になしということ

でよろしいでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

はい、それでは問題なしということで、決定させていただきます。

抽出事案 5 陵成中学校屋内運動場樋軒天他改修工事監理業務委託

【委員長】

それでは、5件目、「陵成中学校屋内運動場樋軒天他改修工事監理業務委託」の審議に入ります。本件の委託概要、随意契約理由等について、発注担当課並びに事務局に説明を求めます。

【都市管理課】

それでは、概要書に沿ってご説明させていただきます。

件名は、陵成中学校屋内運動場樋軒天他改修工事監理業務委託。

履行場所は、桑名市筒尾八丁目12番地地内。3ページ目に位置図を付けさせていただいております。

履行期間は、令和7年6月26日から令和7年11月14日まで。

予算額は税込み1,795,200円に対して、設計金額は税込み1,752,300円となっております。

委託業務の概要といたしましては、陵成中学校屋内運動場樋軒天他改修工事における監理業務でございます。

監理業務の内容といたしましては、屋内運動場の軒樋及び縦樋の改修、樋改修に伴う屋根形状の変更、軒天部分の改修、屋根の遮熱塗装等改修工事の監理業務委託となります。

次に資料を1枚めくっていただきまして、随意契約の理由でございます。

本工事の設計業務は、事後審査型条件付一般競争入札でKEN-空間設計に委託しております。工事監理においては、専門的な知識または技能を必要とするとともに、当該工事は、主に夏休み期間中に施設を利用しながら工事を行う必要があることから、工事施工者に設計者の意図を迅速に、かつ正確に反映し、現地の状況や設計内容に精通している必要があったため、随意契約としております。

なお、桑名市随意契約ガイドライン第4条第1項第2号カにありますように、実施設計委託後の業務監理委託を、実施設計施工業者に行わせるときに基づいて、随意契約としております。

資料の4ページ目に施工内容が分かる書類として配置図を付けております。網掛け部分が今回の屋内運動場となっております。次のページが屋内運動場の立面図となります。その次のページが現況の矩計図、その次のページが改修後の矩計図となっております。

説明は以上となります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、見積経過についてご説明いたします。

資料の56ページをご覧ください。

令和7年6月20日に見積り合わせを行い、指名業者のKEN-空間設計から見積りを徴しましたところ、予定価格の範囲内でしたので、税抜き1,590,000円で契約を締結いたしました。説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい。ありがとうございました。

では、ただ今の案件につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【小寺委員】

この随意契約の内容になるんですけれども、設計者の意図を迅速にというのは分かるんですけれども、そもそも建てた時にこういう樋があるとか、想定できなかったのかなど。追加で必要になったからするという工事なんですよ。

【都市管理課】

付けさせていただいた資料を基に説明させていただきたいのですが、53ページに現況の矩計図を付けさせていただいておりまして、こちらが改修前の図面になるんですが、一般的な住宅の軒樋とは違って、外部から見えないように屋根の内部に組み込まれたような樋になっておりまして、改修前は落ち葉等が詰まってしまって、雨水が縦樋に流れていかなくて、飽和するような形で屋根の内部に侵入して軒天井が腐食していたというような状況があります。次のページを見てもらうと改修後の図面なんですが、屋根の途中ではなくて、一般住宅のような形で屋根の外に樋を出す形に改修を行ってまして、こういった改修をすることで落ち葉や砂が詰まってしまった状態でも、オーバーフローしても屋根の内部へは水が入らないような構造に改修しております。

【小寺委員】

一般家庭で付けるようにする工事は、この業者じゃないといけなかったのですか。

【都市管理課】

設計業務委託を一般競争入札で、選定しまして設計をしていただいた設計事務所が工事の内容を熟知されているので、そこに工事の監理の方も随意契約したというものです。

【委員長】

小寺委員の質問の最初にあったのは、いわゆる工事に関しての監理業務なので、当初の工事の中に監理業務を入れてもよかったのではないかな、というご質問だったと私は理解していたんですけれども。随意契約でわざわざ分けた理由があったのかなという質問だったと思うのですが。

【小寺委員】

そうです。

【都市管理課】

工事は工事の施工業者が行うんですけれども、その工事業者を設計者の視点というか、第

三者の視点で監理していただくために、別途発注を行いまして監理業務としています。一般的に工事業者に監理業務を含めてという発注は行っていません。

【委員長】

要は第三者的に工事内容を監理、チェックするために監理業務は別発注しているんですよ。だから、当初工事は一般競争入札でやりました。で、随意契約の理由にやった人の方が分かるからという。今回の随意契約で第三者じゃないところでなかったですか。

本体工事をやられた業者さんが、この度は随意契約で監理業務のコンサルを受けたということですね。

【都市管理課】

設計業務は、施工業者とは関係なく一般競争入札で、設計コンサルさんを選定しています。

【委員長】

それは、当初の本体工事の話ですね。軒天の改修工事契約自体はKEN-空間設計ですか。

【都市管理課】

ご説明します。令和6年度に、もともとありました陵成中学校体育館の軒天が老朽化しているということで、一般競争入札でその改修工事を行うための設計業務委託をKEN-空間設計に発注しております。そちらで予算計上しまして、令和7年度に工事として入札をかけまして、別の施工業者が工事のために取りました。その工事を監理するために当初設計を行ったKEN-空間設計と随意契約を行ったということになります。

【委員長】

分かりました。すみません、聞き違えていました。当初の設計をしていただいたところだからという意味の随意契約ということですね。施工する者は違う入札の業者がやられるということで理解しました。

質問ですが、随意契約を出すときの予定価格はどのように決められたのですか。

【都市管理課】

価格自体は、国交省の基準で設計業務等の積算基準がありまして、そちらに基づいて必要な業務量を算出して積算しています。

【委員長】

そうすると、見積りをとってこれは幾らくらいになるというのではなく、国交省の計算基準に基づいてということですね。

【都市管理課】

そうですね。事前に見積り等は取っておらず、基準に基づいて算出しております。

【委員長】

分かりました。そうすると、自分のところに随意契約で来たのならという金額の出し方になるでしょうね。

【都市管理課】

そうですね。

【委員長】

他によろしいでしょうか。

では、この件についても特に問題はなかったということで、付す意見もないということで、よろしいですね。

(異議なし)

【委員長】

はい、では問題なしということで、決定させていただきます。

では、これにて抽出案件5件の審議を終了いたします。

発注担当課は、ここで退席してください。ありがとうございました。

(発注担当課退席)

(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて

【委員長】

次に、「議事(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて」となります。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

では、(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて、今回は「働き方改革について」、「地域の建設業者の受注機会の確保について」を、お手元の資料によりご説明申し上げます。

資料の1ページをご覧ください。

ずは「働き方改革について」でございますが、建設業は、良質な社会資本の整備を通じて市民生活に貢献するという重要な役割を担っておりますが、その一方では、これからの建設業を支える若年入職者が減少し、就業者の高齢化が進んでいる状況にあります。

全国の就業者数で見ますと、平成9年のピーク時と比べ、令和6年平均では約30%減少していると言われ、今後、中長期的には、60代以上の高齢者が多く引退される可能性があり、若年入職者の確保・育成が喫緊の課題となっております。

建設業を取り巻く現状として、建設業が他の産業と比較し、労働時間が多く、週休2日が確保されていない状況にあることから、週休2日制度を導入するなどの労働環境の改善が必要です。

そのような状況の中、働き方改革関連法による改正後の労働基準法により、時間外労働の上限規制が、建設事業では令和6年4月から適用となり、建設業においても働き方改革に向けた対応が求められるようになりました。

また、地域の建設業組合団体からは、「公契約のもとで働く人の適正な労働諸条件を確保

されたい」、「休日増加に伴い労働者の賃金が減少しないよう、週休2日の導入に必要な経費等を適正に計上されたい」などの要望が市に寄せられているところです。

市では、令和5年度から週休2日の普及・定着に向けて、原則すべての日曜日と月2回の土曜日を現場閉所する発注者指定型の月2回土日完全週休2日制工事を、対象外工事を除き発注しております。

三重県では令和7年7月から、さらに休日が多い土日完全週休2日制を試行しており、当市においても県の施行要領を準用し順次運用を始めているところです。なお、休日数増加に伴う費用については、月単位の週休2日を前提とした補正係数を労務費や現場管理費などに乗じ予定価格に計上しております。

次に、「地域の建設業者の受注機会の確保について」でございますが、58ページ目をご覧ください。

地域の建設業は、道路や学校、水道などの社会資本を整備、維持管理し、安全で快適な生活空間を提供する「暮らしを創る」役割があります。

自然災害時には迅速な復旧活動を行い、地域の安全と安心を守る「地域の守り手」としての重要な役割も果たします。

また、建設業は基幹産業であるとともに、雇用創出を担っており、建設企業の積極的な展開により、「地域活性化に寄与」すると考えられます。

「働き方改革について」でも申し上げましたが、全国的に建設業の就業者が減少してきており、当市においても入札参加資格者名簿の登録者数も年々減ってきている状況です。将来にわたり、地域建設業に期待される役割を果たせ続けられるようにするためには、地元建設業の育成が重要であり、入札契約制度においても担い手確保の工夫が必要になってまいります。

地域建設業者に関する入札契約制度では、事業所所在地を参加資格や指名基準とする地域要件を定めること。

価格以外の要素と価格とを総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式では、例えば本市との災害協定を締結しているなどの地域社会貢献度を評価項目とすること。

道路の維持管理やパトロール、雪氷対策などを包括的に地域単位ごとに事業を実施する地域維持型契約方式では、地域事情に精通した地域建設業者を発注する方法などがあります。

本市の取組みといたしましては、総合評価落札方式での、災害協定の締結の有無や、元請け及び下請け業者の地元業者施工率を評価項目に含めるなど、地元業者の確保に取り組んでいます。

プロポーザル方式では、実施に関するガイドラインを今年度4月に改正したところですが、新しい取組みとして、プロポーザル方式の実施要領に記載される審査項目及び審査基準等に「地元企業の活用に関する項目」を加えることとしております。特殊性や専門性がある提案を広く求めるプロポーザル方式においては、地元業者を受注させることは容易ではあ

りませんが、できる限り発注担当課にお願いしているところです。なお、総合評価落札方式とプロポーザル方式については、発注を今後実施していく中で、ガイドラインの内容を見直し、必要な改正をしていくこととしています。

その他一般競争入札においても、関係例規に「市内業者を優先する」と示すことで地元優先発注を明確化し、市内業者を指名できる業者数の基準を緩和するなどの改正を今年度行っており、少しでも地元業者の受注機会の確保に繋がるよう取り組んでおります。

また、本市と災害協定を締結する三重県建設業協会桑員支部から地元建設業としての意見や要望をお聞きする機会を設け、本市の入札契約制度の問題解決に向けた意見交換会を開催しております。説明は以上でございます。

【委員長】

はい。ただ今の説明について、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

【山口委員】

業者の週休2日や、労働時間のことを言われましたが、役所としてチェックする方法はあるんですか。例えば、業者が週休2日ですよと手を挙げたが、実際は週休2日ではなかったということが、無きにしも非ずで、そのチェックというのは何か方法があるのかなと、不思議に思っています。

【契約監理課】

契約締結後に発注担当課で確認を行っていると考えております。

【山口委員】

どうやって確認しているのですが。本人に聞いて週休2日制と言えど認めるのか、一つの会社が2つ3つ複数の現場をやられている場合などには、なかなか難しいのではないかと考えるのですが。

【契約監理課】

どのような書式かや、何を提出させているかは確認できておらず申し訳ありませんが、契約締結後に、実際の状況を業者と工事担当課で確認を行っていると考えております。

【山口委員】

チェック方法は分からないが、確認はしているということですね。分かりました。

もう一点、契約の入札参加資格業者にしても契約業者にしても、市内業者を育てるために、市内業者を優先的という話でしたけれども、私の経験の中では、A業者が落札しました、じゃあそのA業者がすべてやるのかというと、ほとんどが下請け、孫請けに出すんですよね。

元請け業者と契約する時に、そこが市内業者というのは分かるのですが、そこが下請け契約した時に、その契約書を市役所に渡しますよね。その下請けも市内業者でないと、実質その人たちがするのだから、市内業者を育てるという意味では下請けや孫請け業者も市内業者にするという条件を付けないと、その業種の担い手を育てていくということには、なかなか直結していかないんじゃないかと思うのですが、その辺はいかがでしょうか。

【契約監理課】

基本的には、発注する要件として下請けに市内業者を入れなさいと要件として付すこと自体は、これは国の方でもそうなんですけど、色々と裁判を見ている中で、これは逆に公正性を阻害するということで、これはしてはならないという形になっています。ただ市役所の方から発注する際の仕様書とかには、お願いベースというか、努力義務ではあるんですけども、市内業者をできるだけ活用してくださいと、そういう文言は入れて発注しているという状況でございます。以上です。

【山口委員】

確かに個々の契約なので、そこまでなかなか役所が、民民の契約の中に入っていけないというところ辺は理解できます。ただ、その中で表看板として、担い手の育成、市内業者の育成と言うのであれば、何かそこら辺をもうちょっとできないかなという思いがあるんですけども。実質、どうですかね。市内業者発注をして、市外から下請け業者を連れてくるっていうことは多々あるのですかね。

【契約監理課】

私は、実際工事を担当している者ではないので、中身は分からないものであるのですが、業者の取引の関係とか色々な状況がありますので、市内業者を多く使うところもあれば、おっしゃるように県内県外といった業者を下請けに使うということも、いろんなパターンがあると思いますので、何とも言えないところですけども。あくまで、努力義務ということで仕様書の方にも明記させてもらったりはしております。

あと、通常の一般入札とは別で総合評価落札方式というのを取り入れている中で、これはあくまで要件ではないので、加点の要素として、そうした下請業者を使うということで、そこを評価して、総合的に良いところに落札してもらおうというふうな方式を取り入れているところであります。以上でございます。

【総務部長】

これもよく災害時とかで、市内業者の育成っていうのが看板だけじゃなくて、どうやっていくのか。特に市内業者が何かあったときには、実際に動いてくれるのは市外ではなくて市内業者でもありますので、だからそういう加点の項目も入れつつ、さっきの週休2日制もそうですけれども、どういう形の様式で確認しているかどうか確認するのですけども、現実的に、どうやってくかっているのが、肌感として多分、市内業者に落とせば、何となく下請けも市内というイメージなのですけども。ただ大型工事、プロポーザルもそうですけど、やはり市外の大手がとって市外を連れてくるような肌感です。ただその育成は重要項目として考えているので、加点とか項目を入れながら進めていきたいと思っております。

【山口委員】

市民感情としては、テレビなんかで災害の状況を見て、ブルを持ってきてくれて、そこに会社の名前が入っていますよね。そういう会社をもっと使えばいいなという思いがあります。それで、そういう制度がうまく構築できたら、災害の時にもそういう会社が馳せ参じてくれて、どんどん、そのような業者が育ってくれるということが、納税者としてはありがた

い話かなとは思いますが。

【総務部長】

なかなか市内業者がいなくて、復旧が遅れたっていう話を市長も聞いているので、もちろん談合とかがあってはいけないわけですけども、市内業者の育成という、連携というのはどうしても必要かなと考えています。

【委員長】

ありがとうございます。週休2日制というのも若い方達だと、やはり土日が休みでないとという気持ちの方も多いようですので、その辺りを踏まえて、やらなきゃいけないかなと思うところと、特に建設工事なんかを考えると、土日というよりはお天気だよねと、平日に雨が續いて、土日に天気が良いと。天気の良い日じゃないとできない仕事が結局できなくなってしまう。何か痛しかゆしのところがあると思うので。市としては、土日と言わざるをえないのかもしれませんが、週休2日制が確保できる形で、土日に縛られない何かいい方法も、考えられるといいのかなと個人的には思っています。

先ほどの山口委員の質問の確認方法については、たまたもしよければ、次回教えていただけるといいかなと思います。

あと、市内業者の育成というのは、これからの課題だと思いますので、いろいろ市の方も、工夫されていると思いますので、今後もそういった観点で進めていただければと思います。

他にご意見、ご質問等いかがでしょう、よろしいですか。

(意見等なし)

【委員長】

それでは、この件については以上とします。

(4) その他

【委員長】

次に、事項の4その他に入ります。

まず、審議案件の次回の抽出ですけれども、次回は山口委員の方に、順番となりますので、お願いしたいと思います。よろしくお願いします。

他に委員の皆様から何かございますか。

(意見等なし)

【委員長】

それでは、事務局の方から何かございますか。

【事務局】

事務局から2点ほど、ご協議いただきたい事項がありますのでよろしくお願いいたします。

まず1点目ですけれども、この入札監視委員会における審議案件として、契約変更に関わる

案件を加えていただきたいというものでございます。

入札契約適正化法及び同施行令では、入札契約の透明性向上の観点から、契約変更が生じた際には、発注者にその公表が義務付けられております。そうしたことから、本市としましても、これまで以上に契約変更に係る理由や内容など、その過程について適正化を図りたいと考えており、今回、審議案件として加えていただこうと考えているところでございます。

そこで、基本的には、これまでご審議いただいている建設工事における契約変更のうち、金額の変更を伴うものについて、また、他の審議案件もあることから、毎年度、第3回目の入札監視委員会の中で前年度分の案件の中から抽出いただき、ご審議いただきたいと考えております。

なお、通常は1回の委員会で5件の案件を審議いただいておりますが、契約変更の案件を、この5件の1つとして加えるのか、もしくは、通常の5件の審議案件にプラスして契約変更1件を追加するのか、その辺りも含めて、御協議をお願いしたいと思います。

次に、2点目は、次回の日程でございます。

事務局としましては、来年の2月9日（月）午後2時から、もしくは、2月3日（火）午後2時から、このいずれかでと考えておりますが、いずれも御都合が悪い場合は、別の日も御提案させていただきますので、後程、日程調整をお願いしたいと思います。

以上、2点、よろしくお願いします。

【委員長】

それでは先に審議案件の件数の話で、現在5件やっております。そこに、いわゆる契約変更の案件をもう1件付け加えて合計6件で審議をするか、もしくはこの5件の中に、それも1件組み込むという形にしてトータル5件にするのかということなのではございますけれども、ご意見はありますでしょうか。

審議する対象が、どんどん増えてきているという言い方はおかしいですが、適正に入札監視委員の仕事ができるようにという話の中から、以前はなかったコンサル案件を追加してとか、指名競争入札、総合評価、随意契約があり、プロポーザルがありという話になると、5件でうまくカバーできるのかなと思っている部分もありますので、その5件の中に今度、変更契約を入れるとなると、どうなのかなと個人的には思っておりますが、委員の皆さんの意見としてはいかがでしょうか。

【山口委員】

契約変更についても、入札監視委員で抽出するという形でよろしいですか。そちらから契約変更の案件について出されるのですか。

【契約監理課】

他の案件のように、一覧をお渡しさせていただいて、その中で抽出という形です。

【山口委員】

私の意見としては、私らが抽出させていただいて、数がたくさんあるようであれば、審議事項がたくさんあるようであれば、5件の他にとおっしゃってますけど、今は合計の中に入

れて良いんじゃないかと。とめどなく増えていきそうな気がします。

【赤木委員】

変更の契約が、例えば1件今回の期間にあったらとか、2件あったらとか、10件あったらとか、例えば1件のときにそれ絶対1件入れるというのも違うなと思うので、5件の中で処理していけばいいかなと思います。

【小寺委員】

変更というのは、これまでにたくさんあるのですか。

【契約監理課】

令和6年度ですと45件です。金額変更があったものをご審議いただこうと考えております。

【山口委員】

それは水道も入れてですか。

【契約監理課】

水道は入っていません。

【山口委員】

ですよね、水道入れたらもっと増えると思います。水道は契約変更が結構あるのですよね。それも全部入ると大変なので、委員が見て、もっと審議しないといけないものがいっぱいあるよということであれば、5件以外に増やしても結構ですが、今のところ5件の中に入れても良いと思います。

【小寺委員】

今後も増えていくとか、その中で疑義があるということが増えてくれば、別出しをして、そうでなければ、5件の中で組み込むということでどうかなと。

【委員長】

いわゆる通常の今やってるものプラス変更契約のものも含めて、そのトータルの中から5件を選ぶと。だから、必ずしも変更契約を1件必ず入れるということではなく、対象に入れるということで、5件の審議でやっていくということでいかがでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

では、そのような形でお願いしたいと思います。

それから、日程の方ですけれども、事務局の方から2月9日の月曜日午後2時からという提示がありましたが、ご都合悪い方はいらっしゃいますか。

(意見等なし)

【委員長】

藤田委員がちよっといらっしゃらないからわからないですけれども、一応、当初の2月9日月曜日、午後2時からということで、決定します。

3 閉 会

【委員長】

それでは、予定していた本日の案件がすべて終了しましたので、これをもちまして令和7年度第2回入札監視委員会を閉会いたします。